

まちなかカフェ「ちまた」へようこそ

福祉ボランティアグループ「ちまた」

平成22年秋頃から、特に高齢化が進んでいる中心市街地で、高齢者や障害者が気軽に集い、交流できる喫茶コーナーを開設して憩いの場を提供したいと、数名が発起して、話し合いを続けてきました。

開設のための施設の確保や改修費用、運営経費の財源確保など、基本的な点について、発起人会で話し合いを重ね、行政への要望などもしながら、23年春には、福祉ボランティアグループ「ちまた」を立ち上げ、会員所有の空き家を改修して、喫茶室を開設する方針を固めました。

その後、発起人会やスタッフ会議を重ねて、開所回数や運営方法等、開設に向けての協議や施設の改修整備を進め、平成24年4月に開設の運びとなりました。



★ まちなかカフェ「ちまた」の概要

- 名称 まちなかカフェ「ちまた」
※ 「ちまた」は、この辺りの字名であった「知真多」と、人が大勢集まる街の通りをあらわす「巷」の二つの意味をかけて名付けました。
- 所在地 大野市本町9-7
(三番・石灯籠交差点から3番通りを南へ2軒目「ほがらか寿司」さんの隣り)
- 目的 高齢者や障害者をはじめ地域の人たちに、気軽に交流できる憩いの場として、喫茶室を開設して閉じこもり防止や孤独感の解消に寄与します。
- 施設 会員が提供する空き家(旧店舗; 12坪)を無償で借り上げ、県の「地域支えあい体制づくり事業」の補助を受けて、約120万円をかけ、簡易な喫茶コーナーとして改修整備しました。
テーブル・椅子、エアコン、テレビ、冷蔵庫等の什器・備品は、寄贈を受けたり、リサイクルショップを奔走したりしながら揃えました。
- 開業日 4月~10月 毎週火・水・金・土曜日の午前10時~午後5時
11月~3月 毎週火・水・金・土曜日の午前10時~午後4時
(但し、年末年始、祝日と重なる開業日は休業日とする。)
※ 平成24年4月の開設時は、毎週火・金曜日の2回でスタートしましたが、平成24年10月から土曜日を、さらに27年6月からは水曜日も開業日とし、現在は、週4回開設しています。
- 運営 福祉ボランティアグループ「ちまた」のスタッフが、1ヶ月ごとに作成する当番計画表に基づいて、2人1組で、毎日代わって1日のボランティアを担当しています。
「常設型サロン」とし、利用者から1回につき200円の施設利用料をいただいて、飲み物(コーヒー、紅茶、ジュース、菓子等)を提供し、利用者同士、利用者とスタッフ等が会話を楽しむ場を作っています。

○ 利用状況 1日当たりの利用者は、スタート時から半年くらいは15人程度で推移しましたが、その後は徐々に増えて、現在は1日当たり20人程度になっています。

市からは介護予防サロン事業の運営補助を受けており、休業日や夜間は、スタッフが加入している団体等が、施設を利用して趣味や教養講座を開催しています。



★ 福祉ボランティアグループ「ちまた」とは

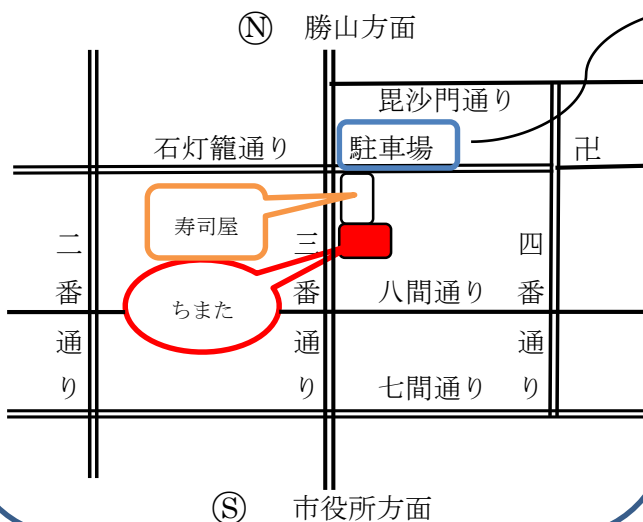
福祉ボランティアグループ「ちまた」は、こうした状況の中で、家に閉じこもりがちな高齢者や障害者をはじめ、地域住民が気軽に交流できる憩いの場を設けて、運営することにより、「居場所づくり」を支援していこうと、平成23年1月に結成されたボランティアグループです。

- 会の目的 家に閉じこもりがちな高齢者や障害者をはじめ、地域の人たちが気軽に交流できる憩いの場を設けて運営します。
- 実施する事業
 - ・ 喫茶コーナー開設による交流の場の提供
 - ・ 趣味、教養講座の開催
 - ・ 作品展示会の開催、ふれあい交流会、生活用品の共同購入、その他
- 役員・会員

役員	会長、副会長2人、会計、顧問で構成（任期；2年）
会員（スタッフ）	18人（平成27年10月1日現在）
- 会議の種類

運営会議（スタッフ会議）	随時開催（全会員で構成）
役員会（発起人会）	5人 毎月1回開催

まちなかカフェ「ちまた」付近見取図



「ちまた」駐車場（3・5・10）

三番通り	1	2	3	5	6	7
	15	13	12	11	10	8
石灯笼通り						
り						

問い合わせ先

福祉ボランティアグループ「ちまた」
会長 松田 光代

☎ 090-2128-0595